

特別支援教育コース 2019年度修士論文発表会2

日時：2019年4月13日（土）9：00～

場所：講義棟201教室

9:00-9:05 開会の挨拶（笠原先生）

No.	発表時間 (発表7分+質疑5分)	氏 名	論文題目	担当教員
1	9:05-9:17	新谷 秀明	個別指導における自閉スペクトラム症児の教示要求行動の形成	村中
2	9:17-9:29	岩船 夏海	聴覚障害学生における非連続型テキストの有効性と読解過程 —概念図の読みを中心に—	坂口
3	9:29-9:41	遠田 敦	特別支援学校のセンター的機能担当教師の小・中学校へのコンサル テーションについての実態と意識に関する研究	河合
4	9:41-9:56※	大谷 泰樹	聴覚障害生徒・学生の数学文章題に用いる読解方略の調査研究	坂口
5	9:56-10:08	高地 朋見	特別支援学校のセンター的機能による小学校特別支援教育 コーディネーターに対する個別の指導計画作成支援	藤井
6	10:08-10:20	酒井 望有	重症心身障害児の機能的視覚の改善に関する事例的研究	佐藤
	10:20-10:30	休憩		
7	10:30-10:42	佐々木 壮太	定時制高等学校における特別な支援を必要とする生徒への支援体制に 関する調査研究	笠原
8	10:42-10:54	佐藤 昌史	知的障害者のワーキングメモリと知的機能・適応行動の関連	池田
9	10:54-11:06	佐藤 みどり	特別支援学校における学校間交流の実施体制が交流活動に及ぼす影響	笠原
10	11:06-11:18	鈴木 地平	筋ジストロフィー成人に対する学校卒業後を見据えた教育に関する 調査研究	八島
11	11:18-11:30	堀井 優希	定型発達児の漢字学習に対するLD特性とワーキングメモリの関連	池田
12	11:30-11:42	渡邊 純子	知的障害・自閉症のある生徒の作業学習における自己記録が作業遂行 に与える効果	村中
	11:42-13:00	休憩		
13	13:00-13:12	上平 昭宏	教育支援センターにおける発達障害児童生徒への支援体制に関する 調査研究	河合
14	13:12-13:24	久保田 雅貴	知的障害者施設における支援マニュアルによる支援と利用者の強度 行動障害に及ぼす効果	村中
15	13:24-13:36	黒川 健太朗	脳性麻痺のある1生徒における数学の文章題解決過程の特性と指導に 関する研究	八島
16	13:36-13:48	佐久間 晶子	視覚障害生徒の地形図理解を促す触覚的空間思考スキル	佐藤
17	13:48-14:00	高木 梨子	通常学級に在籍する児童の学業成績に対するADHD特性とワーキング メモリ、不安特性の影響	池田
	14:00-14:15	休憩		
18	14:15-14:27	早瀬 雄太	超重症児における学校教育修了後の生活実態に関する調査研究	八島
19	14:27-14:39	宮崎 美樹	聞こえの困難さが性格傾向と活動参加に与える影響	小林
20	14:39-14:51	安田 浩士	特別支援学校(肢体不自由)教師の授業における「主体的な学び」の 認識と配慮・工夫に関する調査研究	笠原
21	14:51-15:03	横田 恵	医療的ケアを要する子どもの教育における指導および多職種協働に 対する養護教諭の専門性意識	藤井
22	15:03-15:15	吉垣内 美穂	自閉症スペクトラム障害児の報告言語行動の形成	村中

15:15-15:25 講評（笠原先生）

※聴覚障害学生のため質疑3分延長

問い合わせ 特別支援教育コース 小林研究室 025(521)3674 yuuko@juen.ac.jp